

2.2 Rio Tinto



2.2.1 企業概要

設立: 1873年	本社: ロンドン(英国)	上場先: LSE / ASX / NYSE
決算期: 12月末	CEO: Jean-Sébastien Jacques (16年7月~)	連結従業員数: 46,007名
主な生産鉱種: 		

■経営数値■

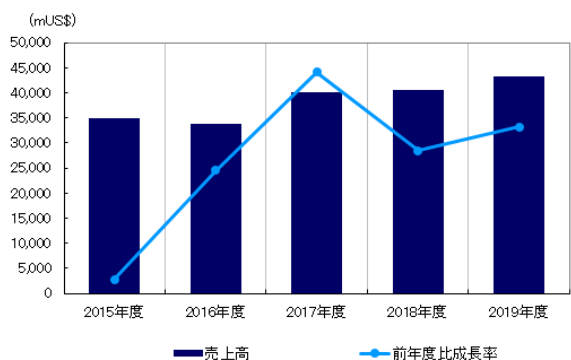


図 2-2-1. 売上

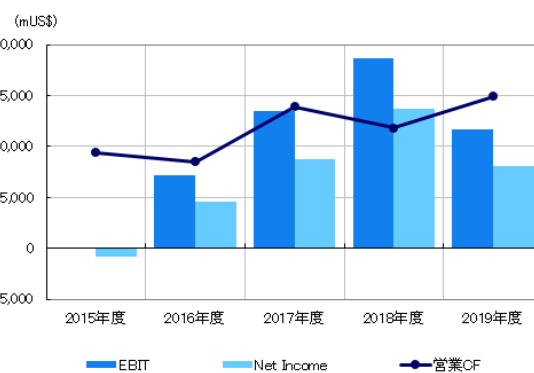


図 2-2-2. 利益

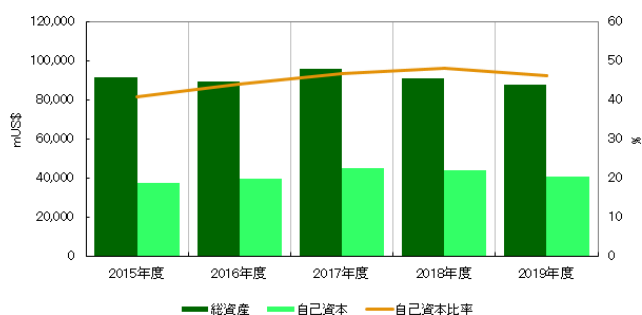


図 2-2-3. 資産

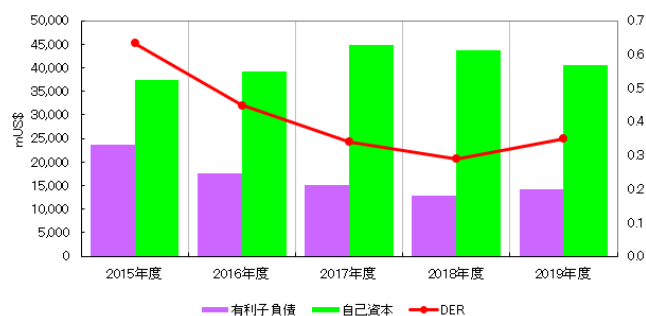


図 2-2-4. 負債

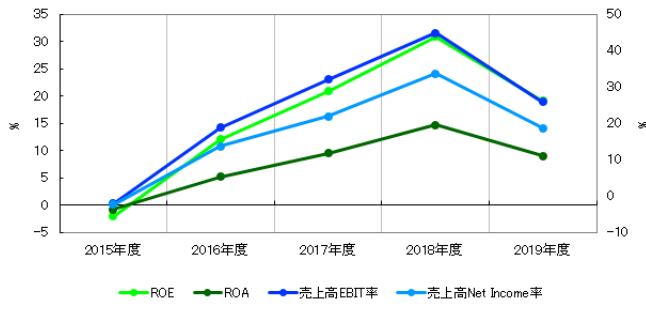


图 2-2-5. 収益性

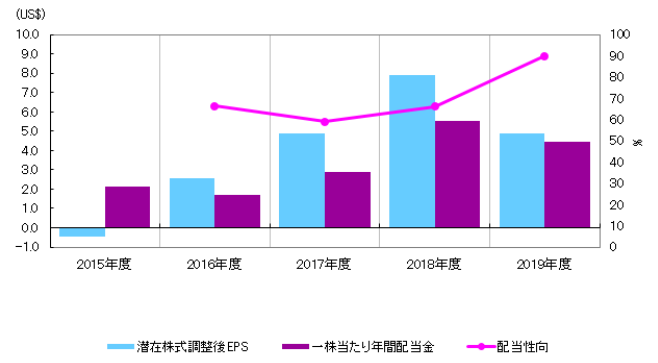


图 2-2-6. 配当

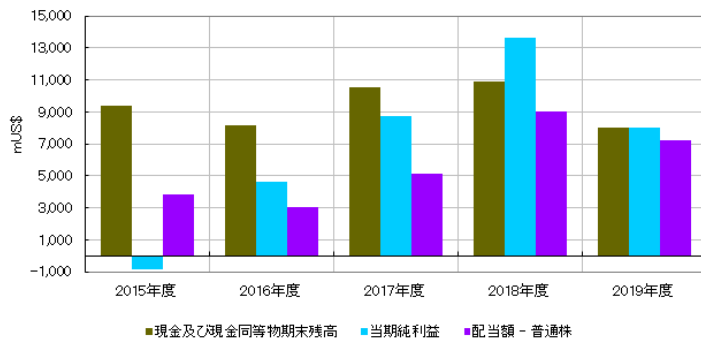


图 2-2-7. 内部留保

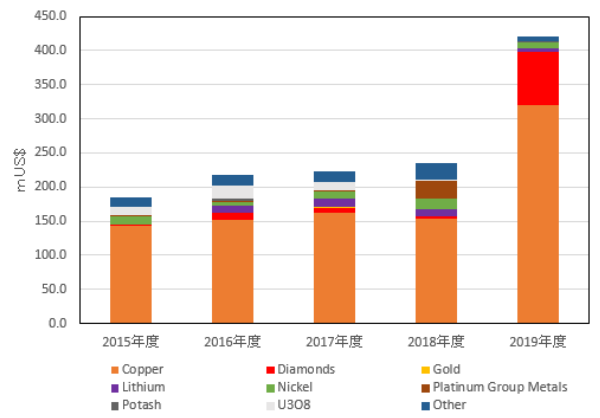


图 2-2-8. 探鉱費

(出典：アニュアルレポート、SPEEDA、S&P Global)

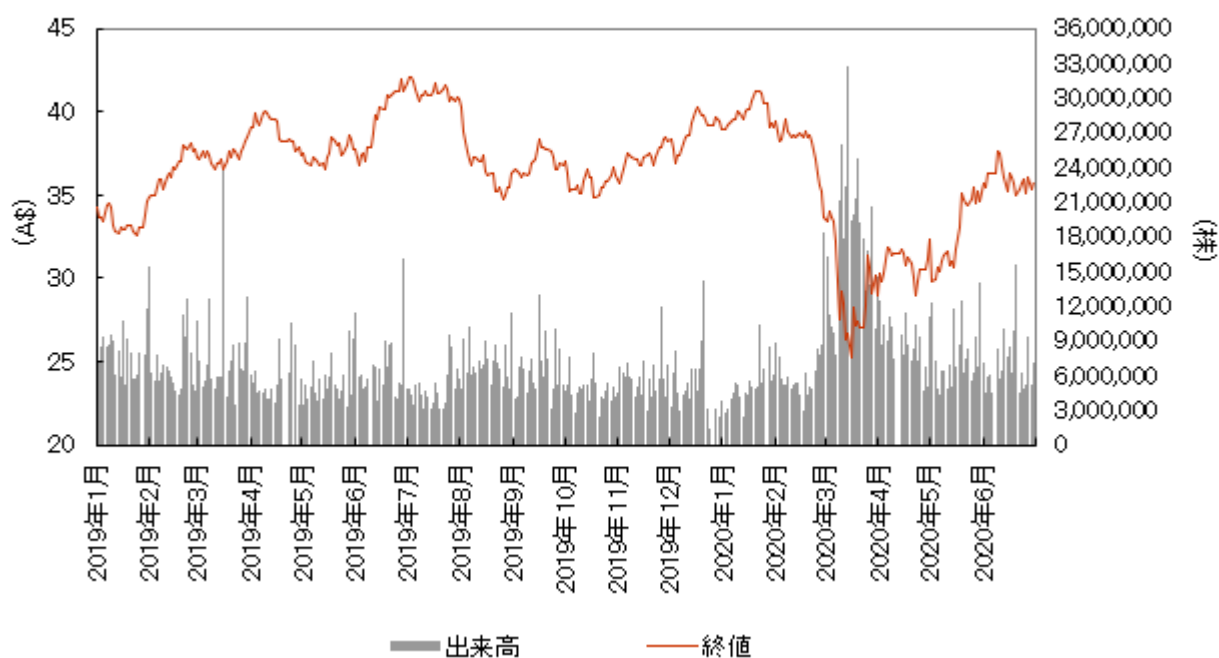
2.2.2 個社概況

2018年にインドネシア Grasberg 銅・金鉱山等の大型権益の売却があったため、2019年の利益は前年比40%強の減少ではあるが、その前年の2017年に次ぐ好調な業績であった。

2018年には原料炭事業を売却し石炭事業を完全に整理したが、2019年もナミビア Rössing ウラン鉱山の売却、ニュージーランド Tiwai Point アルミニウム製錬所の運営見直し等、Jean-Sébastien Jacques CEOの着任以来、推進されている同社の構造改革は手綱が緩むことなく進捗している。

一方で2019年には同社が注力事業の一つに位置付ける銅事業で豪WA州の Winu 銅・金プロジェクトに関する発表があった。同プロジェクトは大規模鉱化のポテンシャルを有するものとしてかねてより噂されていた。既に複数の大型銅プロジェクトを同時進行中の同社にとっては更なる選択肢の追加となり、今後の探鉱結果の進捗及びそれを踏まえた経営判断が期待されるところである。

留意点としては、同社の構造改革を強力に推進してきた Jean-Sébastien Jacques CEOが、先住民の文化遺産の破壊の責任を取り2021年3月末までに退任する点が挙げられる。後任に関する情報が聞こえてこない中、今後の同社の方向性が示される人事ゆえ、その発表が待たれる。



(参考) 図 2-2-9. 株価推移

2.2.3 Rio Tinto の鉱種別アセット所在地





2.2.4 オペレーション別の生産量

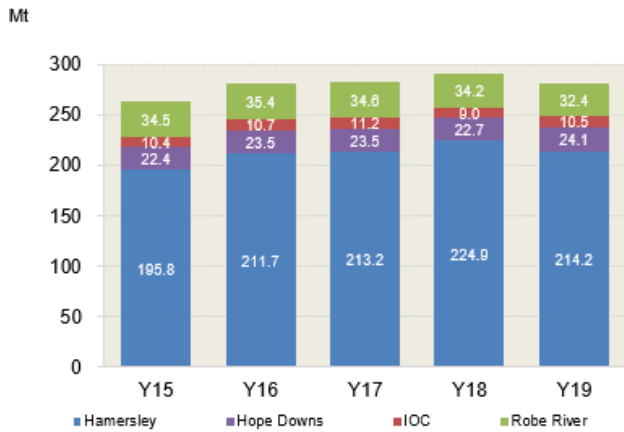


図 2-2-10. 鉄鉱石

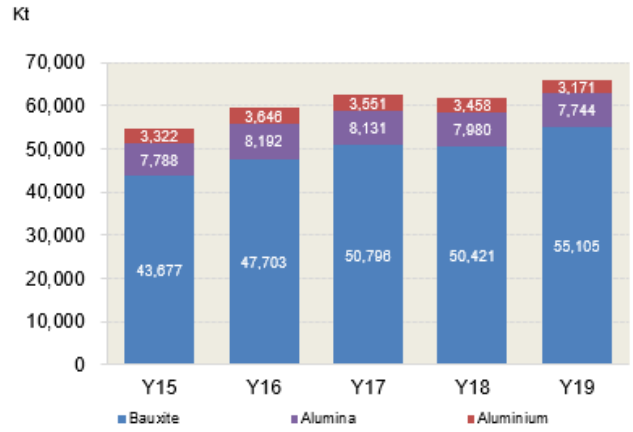


図 2-2-11. アルミニウム

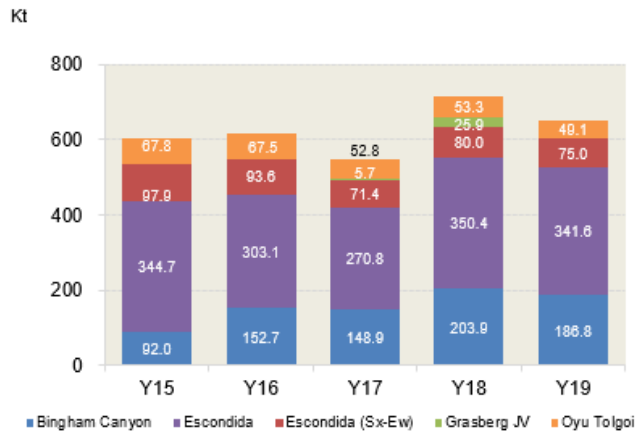


図 2-2-12. 銅

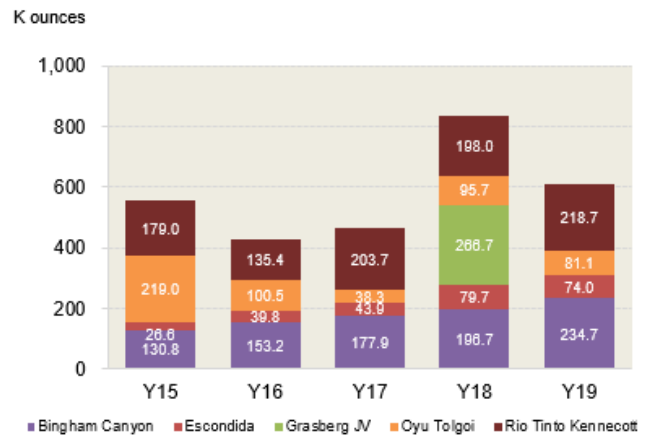


図 2-2-13. 金

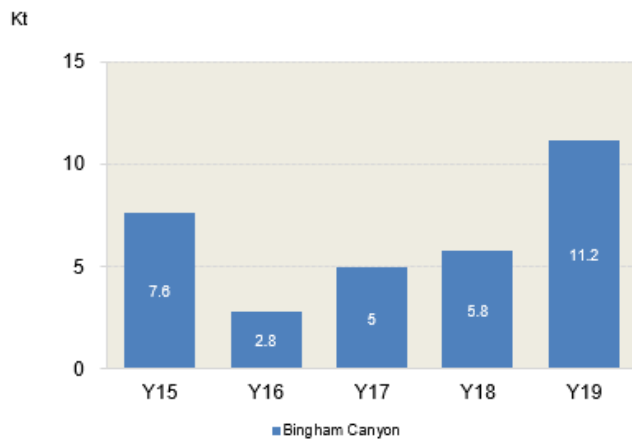


図 2-2-14. モリブデン

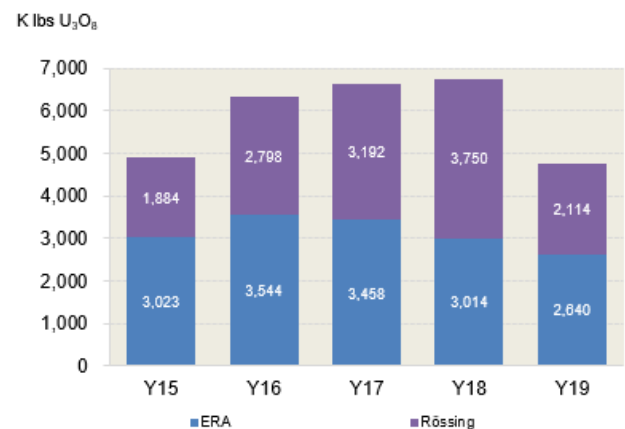


図 2-2-15. ウラン

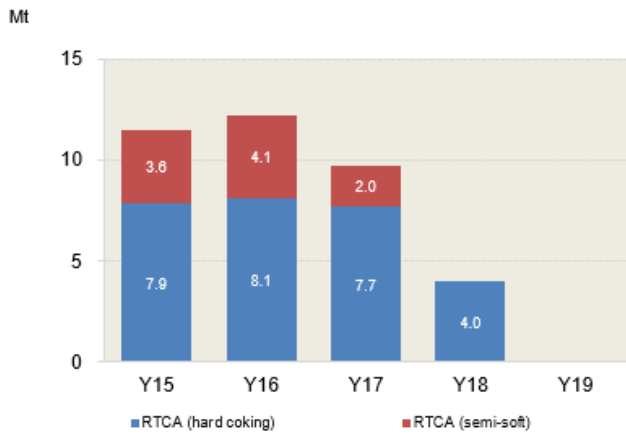


図 2-2-16. 原料炭



図 2-2-17. 一般炭

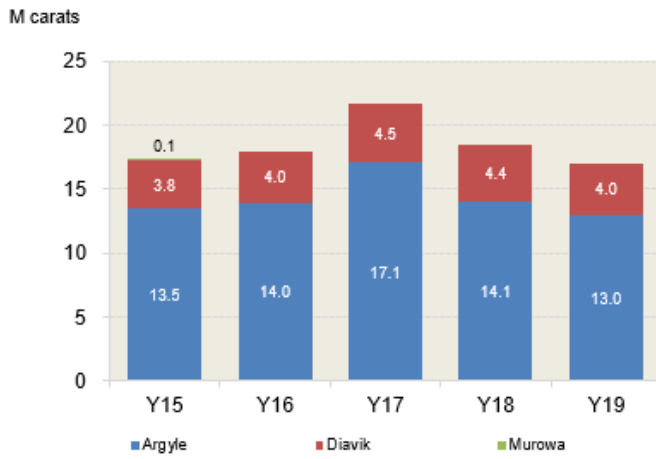


図 2-2-18. ダイヤモンド

2.2.5 主なトピックス（2019 年会計年度：2019 年 1～12 月末）

発行日	鉱種	ニュース
2019 年 1 月 23 日	鉄鉱石 その他	<p>Rio Tinto、Cape Lambert 港での火災で不可抗力を宣言するも、2019 年の鉄鉱石出荷計画量には影響しないとコメント</p> <p>2019 年 1 月 14 日付の地元メディアによると、Rio Tinto は豪 WA 州における Robe River JV の鉄鉱石輸出港として利用している Cape Lambert 港で 1 月 10 日に発生した火災に関連し、一部の顧客への鉄鉱石出荷が滞る可能性があるとして 1 月 14 日に不可抗力（force majeure）を宣言した。Rio Tinto は WA 州 Pilbara 地域に保有する他の鉄鉱石ビジネスへの影響は無いとした上で、顧客への影響を最小限に留めるための最大限の努力を実施しているとコメント。また 1 月 18 日には、同社の 2019 年における鉄鉱石出荷計画量 338～350mt（前年比で 4%の増加）へのこの火災の影響は無いとコメントしている。</p> <p>（シドニー事務所 吉川竜太）</p>
2019 年 1 月 29 日	銅	<p>Rio Tinto Minera Peru 社、5mUS\$を支払いペルーLa Granja 銅プロジェクトの権益を延長</p> <p>2019 年 1 月 17 日付け地元紙によると、エネルギー鉱山省（MEM）は、Rio Tinto Minera Peru 社が、La Granja 銅プロジェクト（Cajamarca 州）における権益を 6 か月間延長することを目的としてペルー政府に 5mUS\$を支払ったことを明らかにした。同社は 2005 年に本プロジェクトの権益を入札により取得し、探鉱活動を実施している。今回の支払いは、権益移行契約の規定に基づくものである。</p> <p>同社によれば、La Granja 銅プロジェクトには 1,000mUS\$の投資が必要とされ、2021 年の操業開始が予定されている。本プロジェクトは世界最大規模の未開発銅鉱床の一つとされ、年間の銅生産量は 500 千 t でメインライフは 40 年のポテンシャルを有すると考えられている。</p> <p>なお 2018 年末に同社は、廃棄物処理場の設計や処理場における地表水の取り扱い、飲料水処理プラントの改善等の 4 点を目的とした 12 回目の環境影響概要調査（EIASD）修正書をエネルギー鉱山省に提出した。</p> <p>（リマ事務所 栗原健一）</p>
2019 年 2 月 5 日	その他	<p>BHP と Rio Tinto、伝統的土地所有者の権利保護に関する動きを支持する声明を共同で発表</p> <p>2019 年 1 月 31 日付のメディアによると、豪州を代表する 2 大鉱業メジャー企業である BHP と Rio Tinto は、2017 年に豪州の伝統的土地所有者の会合で採択された「Uluru Statement from the Heart」により豪州連邦政府に対して求められた、豪州憲法に「先住民の声（First Nations voice）」の定義を正式に導入すること、豪連邦政府と伝統的土地所有者との間の和解を監督するための「Makarrata Commission」を設立することを支持する声明を共同で発表した。同国憲法には伝統</p>

		<p>的土地所有者に関する記載が無い。豪州連邦政府と伝統的土地所有者の間では過去の行為に対する和解が未だ成立しておらず、また先住権に関する法律・政策決定に際して伝統的土地所有者の意見を反映するための「先住民族の声」も設置されていないとされる。両社は、「先住民族の声」の豪憲法への導入と Makarrata Commission」の設立に関し、今後も伝統的所有者をサポートする考えを明らかにしている。</p> <p>(シドニー事務所 吉川竜太)</p>
2019年 3月14日	アルミニウム/ボーキサイト	<p>Rio Tinto、豪 QLD 州 Amrun ボーキサイト鉱山の試験操業段階完了を報告</p> <p>2019年3月8日付のメディアによると、Rio Tinto は QLD 州北部の Amrun ボーキサイト鉱山に関し、試験操業段階を完了したことを明らかにした。同鉱山は近々閉山を迎える予定の East Weipa 鉱山に代わるボーキサイト鉱山として 2.6bA\$ を投じて開発が実施され、2018年12月にボーキサイトが初出荷された。今後、Rio Tinto は Amrun 鉱山のボーキサイト輸出能力を約 10mt/y に増加させる予定で、生産能力を 22.8mt/y に拡張することも計画されている。本鉱山の建設にあたっては、輸出設備モジュールが外地で作成された後輸送されて連結・建設されるなど、Rio Tinto の革新的技術が利用されており、同社の Jacques CEO は Amrun 鉱山の建設が予定より早期に、かつ想定予算より安価で実施されたと評価している。</p> <p>(シドニー事務所 吉川竜太)</p>
2019年 4月3日	鉄鉱石 その他	<p>Rio Tinto、サイクロンによって Cape Lambert 港の積出施設が損傷したことにより、不可抗力を宣言、BHP も影響を公表</p> <p>2019年4月1日付の地元メディアによると、Rio Tinto は豪 WA 州北部を襲ったサイクロン Veronica の影響により Cape Lambert A 港の重要な港湾設備の一部が損傷を被ったため、今後の鉄鉱石輸出に影響が出るとして不可抗力 (Force Majeure) を宣言した。Cape Lambert A 港は 85mt の積出能力を保有しており、同社の Hamersley Iron Yandicoogina や Robe River で生産された鉄鉱石を主に輸出している。Rio Tinto は今回のサイクロンの影響と、1月に Cape Lambert 港で発生した火災の影響により鉄鉱石輸出量が 14mt 減少する見込みで、2019年の鉄鉱石輸出量は同社の権益見合分で 338mt 程度に留まる見込みであるとしている。また BHP も 4月2日、サイクロンによる港湾施設の損傷は軽微であったものの洪水の影響により鉄道輸送量が制限されており、6~8mt の鉄鉱石生産量が減少する可能性があるとして報告している。</p> <p>(シドニー事務所 吉川竜太)</p>
2019年 4月12日	鉄鉱石 その他	<p>Rio Tinto、今度は豪 WA 州 Dampier 港の設備の一部で火災、鉄鉱石輸出への影響は不明</p> <p>2019年4月9日付の地元メディアによると、Rio Tinto は WA 州 Dampier 港の鉄鉱石輸出用港湾施設のスクリーニング施設で 4月6日</p>

		<p>に火災が発生し、設備の一部が操業を停止していることを明らかにした。この火災による人的被害は無いとのこと。現在、Rio Tinto は火災原因の調査を実施しており、同社の鉄鉱石輸出量への影響に関してはコメントを差し控えている。Rio Tinto の WA 州港湾施設では、2019 年 1 月にも Port Lambert 港で火災が発生しており同社が不可抗力 (force majeure) を宣言したほか、4 月上旬にもサイクロンの影響で不可抗力を宣言しており、同社の鉄鉱石輸出量に影響が出る予測を発表したばかりである。</p> <p>(シドニー事務所 吉川竜太)</p>
2019 年 4 月 17 日	その他	<p>Rio Tinto と Anglo American、Climate-Smart Mining プログラムに参加</p> <p>2019 年 4 月 9 日付けのメディア情報等によると、Rio Tinto と Anglo American は、世界銀行の Climate-Smart Mining プログラムに参加すると発表した。このプログラムは、鉱業に関連するサプライチェーン全体として社会や環境・気候変動への影響を最小限に管理しつつ、開発途上国におけるリチウム、コバルト等の採掘を持続可能なものとするための支援を目的としており、2019 年 5 月から開始される。世界銀行は民間事業者から 50mUS\$ 集める方針であり、Rio Tinto は専門的なコンサルティングアドバイスを行うと共に、これから 5 年間に渡って 1mUS\$ の貢献を行う予定。</p> <p>(ロンドン事務所 倉田清香)</p>
2019 年 4 月 17 日	ジルコニウム チタン	<p>RBM 社のジルコン・ルチル鉱山建設、Rio Tinto が 463mUS\$ の投資を承認</p> <p>2019 年 4 月 8 日付け、南ア最大のミネラルサンド生産者 RBM 社のプレスリリースによると、同社所有のジルコン・ルチル鉱山の拡張を Rio Tinto (同社の 74% シェアを所有) が承認した。総額 463mUS\$ の投資となる Zulti South 鉱山の開発は、既存の Zulti North 鉱山の品位が低下している中で、選鉱・製錬施設の操業を維持する上で必要な開発であった。鉱山建設は 2019 年中頃に開始し、2021 年後半の商業生産開始を目指す。</p> <p>(ヨハネスブルグ事務所 原田武)</p>
2019 年 6 月 19 日	鉄鉱石 その他	<p>Rio Tinto、WA 州の鉄鉱石鉄道運搬システムの自動化プログラムの完成を正式発表、今後はハイブリッド化を研究</p> <p>2019 年 6 月 14 日付けのメディアによると、Rio Tinto は 940mUS\$ を投じて開発を進めていた、世界初の長距離・重貨物列車の自動運転システムとなる WA 州の鉄鉱石鉄道運搬自動化プログラム (AutoHaul) が完成したことを正式に表明した。2018 年 12 月の開発開始以降、AutoHaul では 2.4km の長さの貨車が 1,700km に及ぶ同社の鉄鉱石鉱山と港を結ぶ鉄道ネットワークを自動運転で走行し、これまでの無事故による総走行距離は 450 万 km に及ぶとしている。Rio Tinto は、この</p>

		<p>技術の開発は同社の鉄鉱石生産における生産性の増加、融通性の向上、ボトルネックの解決に寄与しており、世界に先駆けた重貨物列車の自動化は世界の注目を浴びている、としている。また、Rio Tinto は同プログラムのさらなる効率化や燃料費・二酸化炭素排出量削減のため、列車の動力をディーゼルからハイブリッドに変更することを研究中であるとしている。</p> <p>(シドニー事務所 吉川竜太)</p>
2019年 7月19日	ウラン	<p>Rossing ウラン鉱山、中国国営ウラン公社 (CNUC) への売却を完了</p> <p>2019年7月16日付け Rio Tinto の発表によると、同社はナミビア Rossing ウラン鉱山における同社所有の全権益を中国国営ウラン公社 (CNUC) に売却完了した。Rio Tinto の最高経営責任者の J-S Jacques 氏は、今回の売却は、同社のポートフォリオの簡素化と強化を目指したものと語る。Rio Tinto は、CNUC からイニシャル・キャッシュとして 6.5mUS\$、その後、最大で 100mUS\$ (ウランの現物価格と Rossing の今後 7 年間の純利益に連動した金額) を受けることができる。また、一定期間内に、鉱区内にある Zelda20 鉱床を売却した場合もキャッシュを受けることになる。</p> <p>(ヨハネスブルグ事務所 原田武)</p>
2019年 8月7日	銅 金	<p>Rio Tinto、豪 WA 州 Winu 銅・金プロジェクトの探鉱試験結果を更新</p> <p>2019年8月2日付けの地元メディアによると、Rio Tinto は WA 州で鉱化を発見した Winu Cu・Au プロジェクトの試験結果のアップデートを発表した。今回発表されたのはダイヤモンド試験 14 孔、RC 試験 28 孔の結果で、比較的地下浅部に存在する脈状の Cu・Au 鉱化が約 2.1km の延長で認められ、鉱化は各方面にオープンであるとしている。今回発表された試験結果の代表的な着鉱は、155.1m 間で品位：Cu 0.41%、Au 0.38g/t、Ag 2.39g/t など、現在も 8 台のダイヤモンド試験リグと 3 台の RC 試験リグが現場で稼働中としている。地元メディアの中には、発見当時に発表された試験結果が品位：Cu 0.4% を超える着鉱が多かったのに対し、今回発表された結果は品位：Cu 0.2~0.3% と「そこそこ」の値が多く、「Rio Tinto の期待に沿った結果とはならなかった」と報じる地元メディアも存在している。</p> <p>(シドニー事務所 吉川竜太)</p>
2019年 10月1日	その他	<p>Rio Tinto、中国 Baowu Steel 社及び清華大学と二酸化炭素排出削減の新方式開発で MOU を締結</p> <p>2019年9月26日付けの地元メディアによると、Rio Tinto は同日、中国の鉄鋼メーカー最大手である Baowu Steel 社 (中国宝武鋼鉄集団) 及び清華大学と、鉄鋼業のバリューチェーンにおける二酸化炭素排出量を削減する新たな方法の共同開発に関する MOU を締結した。Rio Tinto はこの共同開発での出資額は明らかにしておらず、排出削減目標値も設定していないとしている。同社の Jean-Sébastien Jacques</p>

		<p>CEOは「本MOU締結は、Rio Tintoの豪WA州Pilbara鉄鉱石鉱山からBaowu社の製鉄所、及びこれら遠く離れた2か所をつなぐ工程での二酸化炭素排出の削減と環境パフォーマンスの向上を図るといったビジネス目的に基づくもので、イデオロギー的なものではない」と述べ、このMOUはRio Tintoが2020年上半期に発表を予定している、いわゆる「Scope 3排出量」への対応に向けた同社のアプローチの一環とされる。</p> <p>(シドニー事務所 Whatmore 康子)</p>
2019年 10月8日	銅 金	<p>Forum Energy Metals社、SK州のJanice Lake銅・銀プロジェクトで良好な探鉱結果</p> <p>バンクーバーに拠点を置くForum Energy Metals社(FEM)は加SK州のJanice Lake銅・銀探鉱プロジェクトで、Rio Tinto Exploration Canada社が掘削した最初の2孔から良好な分析結果を得た。</p> <p>これら2孔は、Jansemターゲットに対して深さ100m未満で掘削され、最初の孔は63mにわたって品位：Cu 0.18%、2孔目では、44.8m間で品位：Cu 0.38%、Ag 2.2g/t (18m間で品位：Cu 0.71%、Ag 4.2g/t)が含まれている。Jansemターゲットは現在、走向方向に長さ294m、幅30mで追跡されている。</p> <p>Janice Lakeプロジェクトは、Transition Metals社が保有しており、同社とFEMの2018年2月の合意によりFEMに100%取得のオプションが設定されている。</p> <p>FEMは、Rio Tintoが10mC\$の探鉱費拠出と、FEMへの490kC\$の現金支払及びTransition Metals社への200kC\$の現金支払により当該オプションの51%を同社に付与する旨、2019年5月に合意している。</p> <p>また、Rio Tintoは更に3年間にわたって20mC\$の探鉱費を追加拠出し、かつFEMに150kC\$の現金を追加で支払うことにより、権益比率を80%に高めることができる。</p> <p>(バンクーバー事務所 川井隆宏)</p>
2019年 10月29日	アルミニウム/ ボーキサイト	<p>Rio TintoがニュージーランドTiwai Pointアルミニウム製錬所の運営見直しを検討、高電力コストとアルミニウム価格低迷で</p> <p>2019年10月23日付けの地元メディアによるとRio Tintoは、住友化学とそれぞれ79.36%、20.64%の権益比率で共同運営するNew Zealand Aluminium Smelters (NZAS)社のTiwai Pointアルミニウム製錬所を、縮小または閉鎖も視野に含めた運営見直しの対象として発表を公表した。Rio Tintoは発表において、アルミニウム価格が供給過剰により歴史的な低水準となっていることや高エネルギーコストがアルミニウム産業に対し強い逆風となっており、同製錬所の不採算が継続する見通しとしている。同社はこの見直しでは、同製錬所にManapouri水力発電所から電力を供給するMeridian Energy社と電力価格の値下げ交渉を既に進めており、2020年1~3月四半期に結果を</p>

		<p>発表する見通しである。Tiwai Point アルミニウム製錬所は、約 1,000 人の従業員を雇用している。</p> <p>(シドニー事務所 Whatmore 康子)</p>
2019 年 10 月 29 日	鉛 亜鉛	<p>中国五鉱集団、Rio Tinto と新疆や内モンゴル等で鉛・亜鉛鉱床の共同探査を実施へ</p> <p>安泰科によれば、Rio Tinto は、中国五鉱集団と探査合弁会社を設立した。同社業務の一環として、中国国内にある新疆や内モンゴル等 4 地域で鉛・亜鉛鉱床の共同探査を実施する。</p> <p>両社は、2018 年 6 月にそれぞれ 5 割の比率で合弁企業を設立した。今後中国国内で大規模な鉱床の探査事業を展開するが、これまでにターゲットにしている鉱種および地域を発表していなかった。</p> <p>Rio Tinto 社関係者によると、当該合弁企業は、協力パートナーと共に有望地域内で探査目標を探している。技術チームは新疆や内モンゴル地域にある主要鉱床帯、中国西南にある雲南省と東北地域の黒竜江省にある主要鉱床帯に対し評価を行っている。</p> <p>中国自然資源部の凌月明副部長は、中国国際鉱業フォーラムにて、中国国内で外資による鉱業事業への投資案件は非常に少ないが、中国政府はこれまで規制地域を徐々に自由化させ、中国の国内企業や海外企業に公平かつ競争的市場環境を築こうとしている、と述べた。</p> <p>Rio Tinto は現在、世界 17 か所で探査事業を展開しており、7 種類の鉱物資源を探している。2019 年上半期では、各種探査や資源の評価事業に 287mUS\$ を支出している。その中にはグリーンフィールドへの探査案件及び資源の評価業務への 138mUS\$ の支出が含まれている。</p> <p>(北京事務所 塚田裕之)</p>
2019 年 11 月 1 日	その他	<p>Rio Tinto の Jacques CEO、「小型鉱山の操業で早期の投資利益を出す方法が将来の主流に」と発言</p> <p>2019 年 10 月 29 日付けの地元メディアによると、Rio Tinto の Jacques CEO は 10 月 28 日に英ロンドンで開かれたロンドン金属取引所 (LME) のカンファレンスで行ったスピーチで、鉱山の拡張と生産拡大を通じてコストを節減するといった従来の方法は、一部の鉱物に対する需要が横ばいまたは減少傾向にあることや、循環型経済が定着していることなどから時代遅れのものとなり、より早期の投資回収が可能な小規模鉱山操業に将来的には移行するとし、「技術革新が今後の鉱業において重要な役割を果たすようになるだろう。GPS や AI を駆使し、鉱山内の適切な場所への移動が可能な、より小型の電気トラックが利用され、これらトラックの積載量は従来より少なくなろうが、一方で走行速度が速くなるポテンシャルを持つ」と述べた。また、同 CEO は世界経済の成長が減速する見通しであることを前提に、鉱業界ではリスクを積極的に取る意欲は減退するとともに「非有機的な成長」は</p>

		<p>難しくなり、次の 10 年間に大規模な M&A は価値創造のための主要手段ではなくなるだろうとも述べた。</p> <p>(シドニー事務所 Whatmore 康子)</p>
2019 年 12 月 2 日	その他	<p>Rio Tinto が将来的なデジタル化におけるスキル開発に向け、10m\$を投じた 4 年間プログラムを開始</p> <p>2019 年 11 月 25 日付けの地元メディアによると、Rio Tinto は豪州の学生を対象に、批判的思考、問題解決、自動化、システムデザイン、データ分析など将来的なデジタル化に必要とされるスキルを開発するため、10m\$を投じた 4 年間のプログラムを Sydney 大学の Rio Tinto Centre for Mine Automation で開始した。Rio Tinto は同プログラムを Amazon Web Services 社及び豪州を拠点とするスタートアップ促進企業 BlueChilli 社と共同開発し、インターネットなどの情報通信技術を活用して教育を提供するサービス「EdTech」に関するスタートアップや学校からのアイデアに資金を提供する。Rio Tinto の Jean-Sebastien Jacques CEO は、同プログラムについて「変化する世界に必要な知識とスキルの若年層への実装に役立つ、“大胆で破壊的”なアプローチとなろう」と述べた。</p> <p>(シドニー事務所 Whatmore 康子)</p>
2019 年 12 月 3 日	鉄鉱石	<p>Rio Tinto、749mUS\$を投じて豪 WA 州 Pilbara 地域 Western Turner Syncline Phase 2 鉄鉱石鉱山を拡張</p> <p>2019 年 11 月 27 日付けの地元メディアによると、Rio Tinto は 749mUS\$を投じて WA 州 Pilbara 地域 Greater Tom Price における Western Turner Syncline Phase 2 (WTS2) 鉄鉱石鉱山を拡張する計画を役員会で承認した。この計画のもと、同鉱山では新規の破砕機 1 基と 13km に及ぶベルトコンベアの建設を 2020 年の 1~3 月四半期に開始し、2021 年以降は全ての鉱石運搬トラックに自動輸送システム (AHS) を搭載する計画である。メディアによると、WTS2 鉱山ではベルトコンベアの使用によって、トラック輸送と比較して温室効果ガスの排出量が 3.5%削減されるという。Rio Tinto の Chris Salisbury 鉄鉱石事業部門 CEO はこの拡張計画について「Greater Tom Price の老朽化している操業を代替するためで、生産量を拡大するものではない」と述べた。</p> <p>(シドニー事務所 Whatmore 康子)</p>
2019 年 12 月 6 日	ミネラルサンド	<p>ミネラルサンド生産者 RBM、周辺コミュニティの暴力を受け操業休止</p> <p>2019 年 12 月 4 日付けメディアによると、Rio Tinto の南ア子会社 Richards Bay Minerals (RBM) 社は、周辺コミュニティの暴力の激化を受けて、従業員の安全に配慮し、操業休止することとした。RBM 従業員に対する犯罪行為がエスカレートしており、ここ数日のうちに 1 人が撃たれ重傷を負った。その結果、RBM ではすべての採鉱作業が停止し、製錬所の操業を縮小しており、最低限の従業員による操業を続け</p>

		<p>ている。2019年に着工した Zulti South プロジェクトの建設も一時停止している。2019年の二酸化チタンスラグの生産は、現在、2019年の目標の下端にあたる 1.22~1.4 百万 t になるとした。</p> <p>(ヨハネスブルグ事務所 原田武)</p>
2019年 12月10日	銅	<p>Rio Tinto が Kennecott 銅鉱山に 1.5bUS\$を投資</p> <p>2019年12月4日付けの地元メディアによると、Rio Tinto は、米 Kennecott 銅鉱山に 1.5bUS\$を投資することを発表した。これにより Kennecott 銅鉱山の操業は 2032 年まで延長される。今回の投資は、米国において鉱山会社による戦略的鉱物資源プロジェクトへの投資が増えている状況を表している。</p> <p>Rio Tinto は鉱体の新たな箇所での採掘を行い、2026年から2032年の間で1百万t弱の銅地金生産を見込む South Wall Pushback プロジェクトを推進しており、今回の投資は同プロジェクトの第2フェーズにおける追加インフラの開発と廃石堆積場の拡張工事に活用される。</p> <p>同社の Jacques CEO は以下のように語っている。「Kennecott 鉱山における銅やその他の重要鉱物の生産を少なくとも 2032 年まで確実にすることから、これは魅力的な価値の高い低リスク投資である。電気自動車 (EV) や再生可能エネルギーの普及により銅需要は大幅に拡大する一方、品位の低下や操業中の鉱山の閉鎖による供給への影響が予想されることから、銅事業の見通しは有望である。」</p> <p>(バンクーバー事務所 武市知子)</p>
2019年 12月19日	ウラン	<p>Rio Tinto、豪 NT 準州 Ranger ウラン鉱山のリハビリテーション費用 476mA\$の負担を買収裁定機関から阻止される</p> <p>2019年12月13日付けの地元メディアによると、Rio Tinto は子会社 Energy Resources of Australia (ERA) 社が NT 準州で操業する Ranger ウラン鉱山のリハビリテーション費用 925mA\$のうち 476mA\$を、ERA 社の renounceable entitlement offer (REO、既存株主に対する株式買い増しの譲渡可能な提案) を引き受けることによって負担しようとしていたが、豪州内の企業買収を所管する買収裁定機関 (Takeover Panel) の裁定によって阻止された。Rio Tinto は本 REO で ERA 社の 476mA\$相当の株を取得すれば、ERA 社株式の保有比率が現在の 68.4%から 95.6%に増加し、少数株主の持ち株も全て買収する義務が生じるが、現在 ERA 社株式の 16%弱を保有する豪 Zentree Investments 社が少数株主に不利益が生じていることを理由に買収裁定機関に提訴していた。買収裁定機関は、Rio Tinto による今回の REO 引受は既存株主の保有比率を著しく希釈するため、ERA 社はその前に既存株主に希釈を避けるための追加投資を求める必要があり、もし他の株主が追加投資の手当ができない場合、Rio Tinto は 95.6%の権益を獲得する議決権を得る事になると指摘している。Rio Tinto は、Ranger ウラン鉱山のリ</p>

		<p>ハビリテーション関連費用の次の調達手段を決定する前に、この裁定への対応を検討している。</p> <p>(シドニー事務所 Whatmore 康子)</p>
<p>2020年 3月5日</p>	<p>その他</p>	<p>Rio Tinto、過去最高の配当を含む通年決算を発表</p> <p>Rio Tinto が 2020 年 2 月 26 日付けで発表した 2019 年通年決算によると、過去最高の 3.7bUS\$ の最終配当を含む通年の 6.2bUS\$ の普通配当で、総キャッシュリターンは 7.2bUS\$ となった。同社の Jean-Sébastien Jacques CEO は「資本配分に対する規律あるアプローチに沿って、ハイリターンの鉄鉱石と銅を含む開発プロジェクトに 2.6bUS\$ 投資した。長期的には 2019 年の 624mUS\$ の探査及び評価に支出することにより、我々のパイプライン（案件プロセス）に魅力的な選択が追加される」とコメントしている。</p> <p>(ロンドン事務所 倉田清香)</p>

(出典：JOGMEC ニュースフラッシュ)